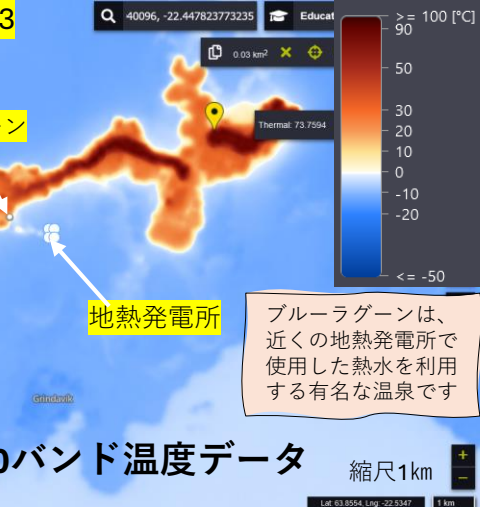


北大西洋

レイキャビク
keykjavik

2024年11月25日

YACかわら版 519



ブルーラグーンは、
近くの地熱発電所で
使用した熱水を利用
する有名な温泉です

アイスランドのレイキャネス半島での噴火は11月20日午後11時14分、ほとんど前触（まえぶれ）もなく始まり、長さ約3キロの亀裂（きれつ）が出現したとIMO（アイスランド気象庁）が説明しています。今回の噴火は8月の前回噴火よりもかなり小規模なものと推定されているそうです。

<https://en.vedur.is/about-imo/news/2024>

ライブカメラ映像などではおどろくばかりです。①グリーンダビーク北側の噴火は、YACかわら版420と423でもお伝えしています。

2024年11月21日BBCは、「アイスランドの火山が1年で7回目の噴火！」と伝えています。

火山が1年に1回ではなく7回も噴火する場所の近くに住んでいると想像してみてください。アイスランドでは、レイキャネス半島の火山が2023年12月以来7度目の噴火を起こし、一部の人がそれを経験している。スンドヌークス火口列は山岳火山とは少し異なり、高い中央火口がなく、代わりに地面に長く巨大な亀裂が開いて噴火します。以下略

[https://www.bbc.co.uk/newsround/articles/ceqxdxpl7x4o#:~:text=What%20happened%20during%20this%20latest,kilometres%20\(1.9%20miles\)%20long](https://www.bbc.co.uk/newsround/articles/ceqxdxpl7x4o#:~:text=What%20happened%20during%20this%20latest,kilometres%20(1.9%20miles)%20long)

この記事は、今回の噴火の特色を的確に伝えています。11月24日のランドサット9の観測データと照合すると、今回の噴火の様子がイメージできそうです。



<https://www.skylinewebcams.com/webcam/iceland.html>

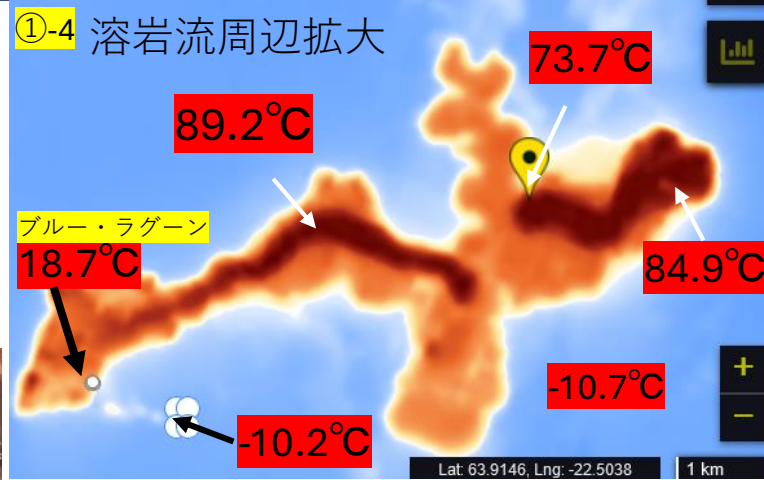
オーロラ等アイスランドの各地の映像もあります



溶岩が道路を越える



グリーンダビーク北側からの溶岩は、時速約100mで前進しているようです。



現在コペルニクスブラウザは、ランドサットデータ群に対応していませんが、EOブラウザは、まだ使用できるので重宝しています。温度データが利用できるのはありがたいですね。

Reykjanes レイキャネス
クラスター|クレーター列

最後に確認された噴火:2024年8月
位置:西経63.817度北緯22.717度
3.817,22.717

標高:140m アイスランド



<https://volcano.si.edu/volcano.cfm?vn=371020>